

## 平成24年度の事業報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

特定非営利活動法人地下資源イノベーションネットワーク

### 1 事業の成果

定款の目的を達成するために、調査・研究事業、教育・広報事業および情報ネットワーク構築事業を実施した。調査・研究事業としては、石炭地下ガス化に関する情報収集の他、石炭ブロックを用いた基礎試験を継続実施した。教育・広報事業としては、北海道他が主催する「石炭資源有効活用研究会」にメンバーとして参加して未利用石炭資源の有効活用についての意見交換を行った。更に、活動内容の報告会を開催した他、調査・研究事業の成果を資源・素材学会他で発表した。情報ネットワーク構築事業としては、ホームページによる情報発信に重点を置いた活動を展開し、石炭地下ガス化協会（ロンドン）にアカデミー会員として継続登録して関連情報の収集に努めた。

各事業の主な成果は次のようである：

#### 調査・研究事業

- ・ 石炭地下ガス化研究会の事務局として、世界各国における石炭の地下ガス化に関する技術開発の現状や将来計画等に係る情報収集を実施した。また、北海道大学、室蘭工業大学と共同で、石炭地下ガス化をモデル化した石炭ブロックの室内燃焼基礎試験を実施し、石炭試料への空気（または純酸素）の供給量と石炭燃焼、石炭温度変化、生成ガスの組成の変化等、石炭燃焼とガス化の関係を評価するデータを収集し、成果をとりまとめた。尚、これらの燃焼基礎試験は室蘭工業大学環境科学・防災研究センターが三笠市の協力を得て三笠市内に開設した「未利用石炭エネルギー研究施設」において実施した。
- ・ 「三笠市未利用石炭エネルギー活用等実施計画書作成業務（委託元：三笠市）」を受託し、炭層メタンの開発、石炭地下ガス化、石炭とバイオマスの混合ガス化など未利用石炭を有効活用する技術の現状や将来展望について取り纏めると共に、三笠市において未利用石炭エネルギー開発を推進するための母体となる研究施設の構想や調査研究計画案などについても取り纏めた。
- ・ 昨年度に引き続き、夕張市清水沢地区をモデル鉱区とした炭層メタンの開発・利用に関する情報整理ならびにビジネスモデルの検討を継続した。

#### 教育・広報事業

- ・ 平成24年5月26日に総会並びに報告会を開催し役員の改選等を行うとともに、板倉会員による「石炭地下ガス化に関する基礎実験報告」と藤井会員による「本当に二酸化炭素は減らすべきか？」の2件の講演会を開催した。

- ・ 地方独立行政法人北海道立総合研究機構地質研究所主催の「第 51 回試錘研究会（平成 25 年 2 月 21 日）」において出口会員が「未利用石炭エネルギーの活用」と題して特別講演を行い、炭層メタン開発や石炭地下ガス化に関して技術の現状や世界における開発状況、NPO の取組などを紹介した。
- ・ 資源・素材 2012 秋田（平成 24 年 9 月）資源・素材春季大会（平成 25 年 3 月）などにおいて、石炭地下ガス化に関する基礎実験の成果を報告した。
- ・ 北海道他が主催する「石炭資源有効活用研究会（平成 24 年 6 月および平成 25 年 2 月開催）」にメンバとして参加し、様々な視点から北海道の石炭の将来展望について情報提供や意見交換を行った。

#### 情報ネットワーク構築事業

- ・ ホームページにより NPO 法人の概要、事業内容などの情報発信を継続するとともに、会員が学会・講演会等で発表した炭層ガスの開発・利用や石炭地下ガス化に関する情報を公開し、広く技術情報の提供に努めた。
- ・ 国内外の関連大学、研究機関、官公庁、企業等との情報ネットワークを構築するための基礎情報を収集した。
- ・ 石炭地下ガス化に関する情報収集を目的として、昨年度に引き続き UCG Association(石炭地下ガス化協会：本部ロンドン)にアカデミー会員として登録した。また、平成 24 年から同協会の Advisory Council (諮問委員会)のメンバに選出された。平成 24 年 5 月に開催された第 7 回 UCG 国際会議（ロンドンにて開催）には板倉会員が参加し、世界各国の UCG 開発状況に関する情報収集を進めると同時に、我が国での UCG に関する基礎試験の実施状況について発表した。